

# 山雲水月

発行責任者 龍源寺 住職 渡辺龍道

## 仁叟寺住職 大本山だより～大本山總持寺監院～

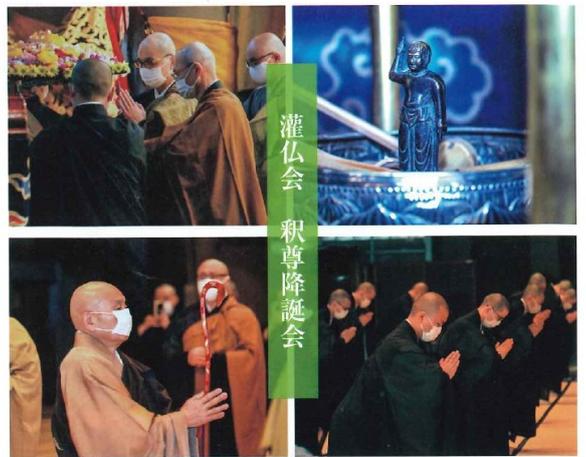
### 令和4年

### 龍源寺年間行事予定

- 1/1～1/3 年頭祈禱・年賀受
- 1/4～1/7 年始挨拶
- ※1/10 年賀寺例
- ※2/3 大節分会
- ※2/15 釈尊涅槃会
- ※3/13 大般若会大施食会法要
- 3/18～3/24 春季彼岸会
- 3/23 旧蚕影山例祭日
- 4/1～4/3 龍源寺天井絵展
- ※4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 4/29 大施食会併蚕影山例祭法要
- 7/13～7/16 京浜地区盂蘭盆会
- 7/31 夏季おてんま
- ※8/10 中元寺例
- 8/13～8/16 盂蘭盆会
- 8/17 第39回子供禅の集い
- 9/20～9/26 秋季彼岸会
- ※10/23 檀信徒研修旅行
- ※11/20 東堂三回忌、寺族七回忌
- 12月上旬 冬季おてんま
- ※12/8 釈尊成道会
- ※12/10 歳暮寺例
- ※12/31 除夜会
- ※毎週水曜日 定例坐禅会
- ※隔週水曜日 梅花講稽古
- ※隔週土曜日 華道教室
- ※毎月最終土曜日 ヨガ教室
- ※は、本寺仁叟寺様にて修行

既に寺報等でもお伝えしました通り、昨年10月28日より当山前住職は神奈川県横浜市鶴見の曹洞宗大本山總持寺監院として重責を担っております。

茲では、監院老師としてのおつとめの諸々をご紹介致します。



灌仏会 釈尊降誕会



**鶴見大学 卒業式・修了式**  
 鶴見大学の卒業式が三月十四日に行われ、令和三年度は大学院、大学、短期大学部をあわせて五九八名が卒業（修了）し、学園主である石附周行禪師さま、渡辺啓司監院も臨席して、卒業生の門出を祝いました。  
 曹洞宗管長の石附禪師さまからは、特に学業に秀でた学生に対して曹洞宗管長賞が授与されました。



灌仏会を四月八日に営みました。灌仏会は一一般的に「花まつり」として親しまれ、大本山總持寺の大祖堂でも草花で飾った花御堂を設置し、中央に安置された誕生仏に甘茶をかけて、釈尊の誕生を祝いました。  
 同日には、釈尊降誕会を渡辺啓司監院の御代理で営みました。涅槃会、成道会とともに、大切に三仏忌の一つに数えられています。



**諸岳会に新たな職員**  
 本山は社会福祉法人「諸岳会」を運営し、同法人は保育園「總持寺保育園」「總持寺本町通保育園」、母子生活支援施設「アーサマ總持寺」、児童養護施設「精舎児童学園」を営んでいます。  
 今年度は十一名（保育士八名、児童指導員二名、事務員一名）の職員を採用し、同法人理事長を務める渡辺啓司監院から辞令が交付されました。

大本山總持寺出版部発行「跳龍」五月号及び六月号より  
 前任職は、学校法人「總持学園」理事長のほか社会福祉法人「諸岳会」理事長としても任に当たっております

## 龍源寺大施食会、蚕影山例祭、総会の報告



① 大施食会法要  
② 蚕影山例祭法要  
（龍源寺本堂）  
諒道上座もすっかりとお手伝い出来ました

去る4月29日に、当山恒例の龍源寺大施食会、蚕影山例祭、檀信徒総会が開催されました。コロナ禍という状況を鑑み、本年も昨年に引き続き、随喜御寺院様の人数を減らし、音楽会や落語会等の清興を中止し、総代人世話人及び被災者の会正副代表、梅花講講員各位の参列をもって同法要を行いました。

また本法要では、人災で被災し、祭壇を組みお守りしております被災物故者精霊供養のほか、コロナ禍の早期収束、ロシアによるウクライナ侵攻の早期終結を合わせて祈念申し上げます。

来年は、たけのこ会という名称のとおり、檀信徒各位と共にたけのこ料理等を召し上がっていただき、コロナ禍前の状況に戻ればありがたいと思っております。本年は法要の画像をここに紹介し、報告に代えさせていただきます。



総会で挨拶をする出牛均総代長

## 第39回子供禅の集い（8/17）、大本山總持寺様参拝研修旅行（10/23）参加者募集中

コロナ禍による社会情勢を鑑み、ここ2年ほど中止をしておりました仁叟寺龍源寺子供禅の集いを本年は修行いたします。例年小学生を対象とし、夏休みを利用し、一泊二日で行い、仁叟寺に宿泊し、禅に親しんでいただく同行事も39回目を迎えました。本年は、コロナ禍という状況も考慮し、盆明けの8月17日に、初めて日帰りというかたちで修行いたします。

また例年開催しております恒例の仁叟寺龍源寺参拝研修旅行ですが、本年は愈々満を持して、10月23日に曹洞宗大本山總持寺様へ伺います。大本山様をお詣りし、大祖堂にて先祖供養法要を行い、精進料理の昼食をいただき、監院老師である仁叟寺住職との面会も予定しております。本山の公務を精力的につとめております仁叟寺住職への激励を兼ね、大本山様へ伺います。

禅の集い及び研修旅行、檀信徒の皆様方はもとより友人知人をお誘い合わせの上、奮ってご参加くださいますよう、お願いいたします。



大本山總持寺香積台（総受付）

精進料理の昼食をいただき、監院老師である仁叟寺住職との面会も予定しております。本山の公務を精力的につとめております仁叟寺住職への激励を兼ね、大本山様へ伺います。

## 当山同末 向陽寺晋山結制 信永院東堂本葬

龍源寺と同じく仁叟寺末寺の向陽寺（甘楽町天引）にて5月28～29日に晋山結制式が、同じく信永院（長野県佐久市望月）にて6月18～19日に東堂本葬が、それぞれしっかりと修行されました。

両法要ともに式で最も重要なお役である西堂及び秉炬師を、本寺である仁叟寺住職が大本山總持寺より伺い、お勤めいたしました。向陽寺、信永院は仁叟寺四世莊山道巖大和尚の開山であり、古い歴史を有する寺院です。

向陽寺は、群馬県議会議員を長年勤め、県議会議長も歴任された織田澤俊幸老師が住職をされておりましたが、この度弟子の織田澤智幸師が新たな住職となり、晋山結制式を行うこととなりました。コロナ禍の影響で、一年ほど延期となりましたが、檀信徒が見守る中、盛会裏に法要がつとめられました。

信永院は、龍源寺住職の弟である渡辺俊司師が住職をつとめ、平成30年には晋山結制式も執り行われました。東堂の内山宏志老師は、住職のほか長年に亘り教職をつとめ、高等学校長等を歴任。平成25年には叙勲の栄に浴しました。昨年12月18日に世寿97歳で遷化されました。本葬儀では、多くの檀信徒が弔問に見えられ、地元の御寺院様が集い、莊嚴に本葬儀がつとめられました。

それぞれ、会議や打合せ、準備を重ね、コロナ対策も施し、寺檀一如一致協力して大法要が行われました。お疲れ様でございました。

## 龍源寺墓所及び境内の人災について

令和元年10月12日に発生した龍源寺墓地及び境内地に産業廃棄物が流入し、大きな被害を受けた人災ではありますが、係争もようやく結審へと向かい進んでおります。

去る6月30日に証人尋問が前橋地方裁判所高崎支部裁判所にて開かれ、住職と被災者でもある出牛均総代長、白田幹男総代人とともに参列いたしました。原告側である我々の尋問のほか、多野造園土木株式会社代表田中広幸、土地所有者羽切吉胤両被告人も出廷。尋問は公開で行われ、発生当時から事件を取材しております上毛新聞社記者、担当石材店関係者も見守る中、粛々と行われました。

7月10日には、総代人世話人会議に先立ちまして、代理人高橋勉弁護士を招き慰霊法要と被災者説明会を開催いたしました。

本年中には結果が出るものと思っておりますが、コロナ禍もあり、時間が非常にかかっております。関係各位に良き報告が出来ますよう歩みを進めておりますこと、ご承知おきください。



友月山向陽寺晋山結制 令和4年5月28、29日



信永院十七世  
遺偈 全啓宏志大和尚  
本葬儀

日時：令和4年6月18日（土）午後4時 大 夜  
6月19日（日）午前10時 本葬儀  
会場：信永院 長野県佐久市望月1486



## 東堂三回忌、寺族七回忌法要

本年令和4年は、先々代住職二十八世仁叟寺三十世重興大澄隆司大和尚三回忌となります。また先々代住職寺族渡辺テル七回忌にもあたります。そこで11月20日の東堂老師正当命日に併せ、三回忌と七回忌の法要を仁叟寺に於いてつとめる運びとなりました。御寺院様、親族、仁叟寺総代人等でしめやかに故人を偲ぶ法会を行わせていただく予定です。



在りし日の東堂夫妻

## 盂蘭盆会について

盂蘭盆会(お盆)の行事について、述べさせていただきます。

京浜地区は、月遅れではなく新暦のとおり7月にお盆をつとめます。7月盆には京浜地区檀信徒の棚経で各家をお廻りいたします。7月盆のご回向を希望される方は当山までお問い合わせください。当地では8月にお盆様をつとめます。詳細は下記のとおりです。

- ◇ 8月12日 盆迎え(当山住職が本堂にてお迎え申し上げます)
- ◇ 8月13日 盆迎え
- ◇ 8月14、15日 盆棚経(新盆及び総代人の檀家さんの棚経をいたします)
- ◇ 8月16日 送り盆

近年は各家の事情等により、当寺本堂にて新盆供養をつとめる方も増えております。8月12～16日は本堂での新盆供養をつとめることが出来ませんが、その前であれば法要を執り行うことができますので、当山までお問い合わせください。

13日の盆迎えは、盆句を持参し、菩提寺にお詣りいただき、本堂に設けた施食棚に手を合わせ、お灯明をいただきます。日本古来の伝統行事でありますお盆様。大切な方を偲び、出来る範囲で、しっかりと丁寧におつとめいただきたく存じます。



## 行雲流水 (編集後記)

本年6月7～8日に、第66回總和会関東大会群馬大会が地元群馬県が当番となり、執り行われました。今回は、コロナ禍により3年振りの大会となり、感染症対策は勿論、各方面と打合せに打合せを重ね、つとめられました。また、大本山總持寺貫首石附周行紫雲臺猯下に御来駕の上、ご法話(御垂示)賜る好縁をいただきました。ほか御来賓として師匠である大本山總持寺監院渡辺啓司老師、宗務総長で全国總和会長の鬼生田俊英老師にご祝辞を頂戴し、約230名の関東管区会員諸老師が集い、盛会裏に圓成することができました。不肖ながら当山住職が同大会の事務局長をつとめさせていただきました。大会会長橋本恵一老師のもと、県内会員諸師が力を合わせ無事圓成できましたことに、心より感謝申し上げます。合掌

編集人 住職 渡辺龍道

